

いつもの

新しいものを手に入れると新しい発見がある。

先日マイナンバーカードを使って、住民票をコンビニで印刷してみた。ものの五分ほどで印刷できてしまった。今まで市役所に行って受け取っていたものが、手軽に手に入れることができて少し感動したことを覚えている。まるで、自分の既成概念がひとつ崩れたような感覚である。このような感覚は新しいものを取り入れた人しか得られない感覚であろう。

新しいものに手を出す人というのは、どこかネガティブに思われることがある。流されやすい・我慢できない・一つのことを継続できない等々。しかし、考え方によっては、このような人たちがいるからこそ世の中が回っている。「新商品」「期間限定」という表記にどんなものかと好奇心を抱き、手に取って試すからこそ発見があり、そこからより良い製品やサービスが磨かれていくのだ。

人間は、常に「新しいもの」「や「良いもの」を求め、特に日本人はその傾向が強いらしい。例えば高級食パン。一般的な食パンはスーパーで百円程度から買える日用品である。それと、これまでとは異なった原料や製法で「高級」という言葉が結びつき、進化した食へ物と認識されるようになったのだ。この二つが結びついた意外性と千円程度という少し手を伸ばせば手の届きやすい価格設定もあってウケたのかもし

れない。

人間というのは、総じてないものねだりをする生き物だ。それに対して、「もっとおいしいもの」「もっと便利なもの」と試行錯誤して開発される。価値観は時代とともに変化していく。ものが不足していた時代は、安価で多くの物となるので、価格が最優先される。それなりにお金を持ち豊かになってくると、品質や付加価値が優先されるようになる。どの店頭にも、同じ用途の商品が複数販売されている。各商品のコンセプトを変え、実用性やデザイン性、価格など様々である。その中から自分の用途に合う商品を取捨選択する。

商品選びにおいて、失敗したことのない人はほとんどいないだろう。上手い商品説明や写真映えるようにされた商品もなくはない(と思う)。用途や期待度で満足度は変わるのだから、一人の消費者として新商品を求めると同時に、目利きでもありたいと考える。いい商品やサービスと出会えたときのワクワク感は、何とも言えない気持ちのいいものだ。だからこそ、開発者に敬意をもって、いいものはいと言いたい。最近SNSで紹介されてバズって(短期間で爆発的に話題が広って)その広告的な投稿を見る。このような営業手法があるが、個人的には広告量に左右されない本当の「いいもの」と出会いたい。人もものも、他の人が知らない素晴らしいところを見つける出会いがなんとも楽しいからだ。感動が新鮮なまま、次の出会いを見つけたものである。

主張 北辰

この二月には中華人民共和国の北京にて冬季オリンピック大会が開催された。東京でオリンピックが開催されたのがつい先日のことのように感じられる。西暦こそ跨いでいるが、同一年度に夏季と冬季のオリンピックが開催されることは、ひよっとしたら二度とないことなのかもしれない。それこそ、一九九二年までは同一年に冬季と夏季のオリンピックが開催されていた。だが、それも生徒はおろか、職員ですら知らない世代に突入している。三十年前のことと思えば、仕方のないことではあるのかもしれない。

さて、大会が始まると、判定や採点がクローズアップされる場面が目立ってしまい、観ている者を複雑な心境にした。それらの可否について論ずるつもりはない。だが、冬季オリンピックの競技がいかに人間による判定や採点に左右されているのかを改めて感じるようになった。これだけ注目されてしまうのであれば、人間ではなく最先端のAIなどが行うことができれば良かったのかもしれない。しかし、現時点ではそれは難しいことであつただろう。

特に気になったのは、結果に対して選

手が精神的に追い詰められるような様子が見られたことである。この状況だけは避けるべきであつた。情報化社会の弊害とも言うべきか、誹謗中傷は止む配がない。中にはそれを乗り越えることも勝者たる条件かのように語る人もいるが、常軌を逸する状況もあることを直視すべきである。

また、運営を行う側の稚拙さも際立った。ルールは定めて終わりではない。どう運用するかも大事である。特に先述した通り、人間による判定や採点に左右される競技であれば尚更である。勿論、法律と同じくある程度解釈の余地は残しておかなければならないとは思いますが、今回の件を見る限り余地を残し過ぎていたことが原因であると思えてしまう。これでは選手を守ることもできなければ、競技への興味も失われていく恐れがある。

教育の現場でも、GIGAスクール構想に基づくICT環境の整備が進んでいるが、こうした点に注意して運用を行わなければならないと感じている。

この度卒業を迎える者の中には、最後まで受験勉強に心血を注ぎ、二度のオリンピックを観る余裕のなかった者もいるであろう。その者たちが二年後乃至四年後、心から楽しめる大会が開催されることを願いながら筆を擱くこととする。

編集発行 関根学園高等学校

新たな歴史



関根の教育

第124号 2022年3月5日発行



硬式野球部 滝澤 夏央 選手

(城西中学校出身)

埼玉西武ライオンズ 育成2位に指名!

硬式野球部の滝澤夏央さんが、2021年プロ野球ドラフト会議で埼玉西武ライオンズ育成2位に指名されました。滝澤さんは、本校会議室で保護者、監督らとドラフト会議の中継を見守り、自身の名前が読み上げられるとホッとしたような笑みをこぼし、控えていた報道陣からのインタビューに堂々と応じていました。

その後、校内で滝澤さんを待っていた硬式野球部の部員らに祝福を受け、滝澤さんのまわりは歓喜に包まれていました。

また、滝澤さんは今年度、新潟県高等学校野球連盟から優秀選手として表彰を受けています。さらなる活躍を期待しています。



1・2 学年特進コースの探究活動成果発表会を開催!

12月11日(土)に、6月より1・2学年の特進コースが合同で進めてきた探究活動プログラムであるLOCUSの成果発表会を実施しました。発表では10月に生徒が訪問した上越市内の企業のうち「三星工業(株)、(株)ホクテツ、(株)崎崎商店、社会福祉法人上越あだご福祉会、一般財団法人上越環境科学センター」の5社について、それぞれの企業がどのような仕事をしていて、日々どのような課題と向き合っているのか、企業訪問を通じて学んだことについて発表しました。また、それらの課題を各企業の課題としてだけでなく、社会全体の課題として捉え、自分たちなりの解決策を提案しました。発表会に御参加いただいた方々からも貴重なアドバイスやコメントを賜り、生徒にとってさらに学びの深まった時間になったことと思います。

またこの発表会后に、(株)ホクテツ様から発表を聴かせてもらいたいというお声をいただき、後日伺い、「企業の商品や製品をVtuber(2Dや3Dのアバター(ネット上での自分の分身))を使って活動しているYouTuberのこ)を通して、若者をターゲットに宣伝することで当事者意識をもってもらう」をテーマに発表してきました。企業の方から「新鮮な発想で、発表を活用したい」と、御講評をいただきました。また発表した生徒も「緊張したが、聞いていただき貴重な経験をしました」と、感想を述べていました。

今回、この特進コースの取り組みに携わっていただいた全ての方々に改めて感謝申し上げます。



スキー部 野本 和愛 選手

(妙高高原中学校出身)

インターハイ優勝!

先日行われた第71回全国高校スキー大会で、本校の野本和愛さんが男子アルペン回転で2本とも最速のラップタイムを出し、見事優勝しました。これは新潟県および本校として24年ぶりの快挙です。3年間毎日厳しい練習を乗り越えて掴んだ栄光はひとしおだと思えます。本当におめでとう、そして感動をありがとう。次のステージでの活躍も応援しています!

本校卒業生 古野 慧 選手 北京オリンピック出場!

本校卒業生の古野 慧選手(2017年度卒)が北京オリンピック スキークロスに出場しました。大会前、古野選手はカナダで調整を続け、「今は早くレースがしたい」と語っていました。高校時代からオリンピック出場を目指し、努力を重ね、見事出場を果たしました。オリンピック本番では我々の想像を絶する重圧を背負っていたことと思います。そのような中でも、彼のパフォーマンスは私たちに困難に立ち向かう勇気と大きな感動を与えてくれました。古野選手、ありがとう。そしてオリンピックお疲れさまでした。これからも関根学園一同、応援しています。

吹奏楽部によるコンサート



スイッチバック二本木鉄道まつり2021	アンサンブルコンテスト	クリスマスコンサート
♪ テルプシコーレ舞曲集 ♪ J-BEST2020 ♪ シュガーソングとビターステップ	♪ テルプシコーレ舞曲集	♪ テルプシコーレ舞曲集 ♪ CHRISTMAS Happy Medley ♪ クリスマスソング

～「スイッチバック二本木鉄道まつり2021」に参加～

本校吹奏楽部が11月に「スイッチバック二本木鉄道まつり2021」に参加してきました。当日は楽しい演奏だけでなく、マイクパフォーマンスも工夫しました。アンコールをいただいて、大盛況となりました。

～「第45回 新潟県アンサンブルコンテスト」銀賞受賞～

また、本校吹奏楽部として初めて新潟県アンサンブルコンテストに出場し、銀賞を受賞しました。これまで毎日自分たちがすべき努力を一生懸命積み重ねてきた結果だと思えます。本校にまた一つ新たな歴史が刻まれた瞬間でした。本当におめでとうございます。

～クリスマスコンサート開催～

12月24日(金)に、吹奏楽部によるクリスマスコンサートが開催されました。会場は瞬間に一体感に包まれ、大いに盛り上がりました。改めて音楽は人と人を繋いでくれる素晴らしい文化だと感じました。

修学旅行に行ってきました!

- 1・2組 新潟市・福島県コース
- 3・4組 長野県・山梨県コース
- 5・6・7組 富山県・石川県コース



12月2日(木)～3日(金)に2学年の生徒が修学旅行に行ってきました。当初は普通コースと進学コースは沖縄県へ、特進コースはシンガポールへ行く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、昨年度同様、クラスごとに分かれて近県への1泊2日の旅行となりました。

生徒はその土地の食文化や名所を楽しみ、新潟では味わえない「刺激」を感じることができたのではないのでしょうか。高校生活の思い出のひとつになってもらえればと思います。



クリエイティブなアイデアが溢れた北辰祭

10月22日(金)に北辰祭が開催されました。新型コロナウイルスの影響により、今年は、一般公開は行わず、生徒のみの開催となりましたが、生徒会を中心に生徒は放課後等の時間を利用して一生懸命準備を進めてきました。

当日はフォトスポット、迷路、神田外語学院との探究活動を論文形式にまとめたもの等、各クラスが思い思いの催し物を行いました。また、今年度の全体企画では、「青春MOVIE」と称して各クラスがショートムービーを作成、それをパソコン部が編集し、オープニングで上映しました。趣向を凝らしたひとつひとつの動画に全校生徒は大変盛り上がりしていました。

青春MOVIEやクラス企画には生徒のクリエイティブなアイデアが豊富に盛り込まれていました。



合格おめでとう!

2021年度 進路状況 (2月25日現在)

国公立大学・短期大学(部)
新潟県立大学
上越教育大学
長岡造形大学
静岡県立大学短期大学部
大月市立大月短期大学

私立大学
法政大学
明治大学(2)
日本大学(4)
東洋大学
駒沢大学

獨協大学
大東文化大学(5)
龍谷大学(6)
近畿大学(7)
京都産業大学(4)

佛教大学(6)
新潟医療福祉大学(4)
新潟青陵大学
新潟薬科大学
他多数

今年度よりインターネット出願を導入いたしました。

令和4年度 生徒募集 専願2次入試

試験日 令和4年3月16日(水)
合格発表 令和4年3月17日(木)

※詳しくは本校募集要項・ホームページをご覧ください。